

桂川町社会福祉協議会だより

# おおぞら

2025

No.187

令和7年2月18日(年4回発行)

(編集・発行)社会福祉法人 桂川町社会福祉協議会広報部 桂川町大字土居463番地1 いきいきセンター「桂寿苑」内 ☎65-2271・☎65-4555

メール [keisen-fukushi@keisen-shakyo.or.jp](mailto:keisen-fukushi@keisen-shakyo.or.jp) ホームページ <http://www.keisen-shakyo.or.jp>

## はいポーズ!!



イラスト：新 未佳

印刷・製本：今心株式会社 飯塚市横田669番地69後牟田工業団地 ☎22-2888





開催日: 11月10日

# ふれあいのつどい

桂川町障害者関係連絡会では、障がいを持つ人と持たない人との交流が日常において、あたりまえとなる環境づくりを目指し「ふれあいのつどい」を開催しています。

昨年の11月10日(日)に弥山岳登山とレクリエーションに分かれて開催し、104名の参加がありました。

弥山岳登山は2班に分かれ、それぞれのペースで登山を楽しみました。野球の話や好きな食べ物、施設での出来事、たくさんのお話ことができました。下山時には、「カレー楽しみ!いっぱい食べる!」とお昼ご飯を楽しみにしている方がたくさんおられました。先に出発した班は、下山が早かったため、フライングディスクを楽しみました。



ボランティアの方

レクリエーションは、ゆのうら体験の杜でスポーツ推進委員の方に指導していただき「卓球パレー」「ペタンク」「フライングディスク」の3種目行いました。みなさん徐々にコツを掴んで楽しくゲームができ、盛り上がりました。

雨が降り始めた為、急ぎよ室内でお昼ご飯になりましたが、参加者の素早い対応のおかげでスムーズに切り替えることができ大変助かりました。その後、育成会さん、Wa-Waさんによってもらったカレーを全員で食べ、クジ引き、参加者紹介で交流を深めました。クジの番号によってプレゼントの内容は変わりましたが、みんなプレゼントをもらって喜んでいました。

今年度も多くの方々のご協力のおかげで無事に終わることができました。参加して頂いた方ありがとうございました。

開催日: 11月27日

## 包丁研ぎ教室を行いました

桂川町在住の中村寛さんを講師としてお招きし、包丁研ぎ教室を行いました。参加者は日頃使用している包丁を持参し、その包丁の切れ味を確認した後に実践しました。

難しそうに思える包丁研ぎですが、参加者から「ポイントを教えてもらったことで、思っていたよりも簡単だった。これなら家でもできるかも」と言われました。

研ぎ終わった後には、切れ味の確認として、紙を切ってみました。研ぐ前は、切れなかった紙が、嘘のようにス——と切れ、参加者も大喜びでした。

とても好評でしたので、次回も企画します。興味のある方はぜひご参加ください!





開催日 第1回:10月22日

第2回:11月22日

# うきうきレクリエーション講座

今年度もうきうきレクリエーション講座を開催しました。

第1回は、牛乳パックを使ってルービックキューブをつくりました。手作りの会の皆さんに教えていただきながら、個性あふれるオリジナルのルービックキューブをつくることができました。それぞれの面を合わせることが難しいので、みなさん苦戦されていました。

第2回は社協職員が考えた新しいゲームを行いました。私たち職員も初めての試みでドキドキしながらの挑戦でした。1種目は、まだ名前も決まっていないゲームで、段ボールに一箇所空気穴を開け、その上にピンポン玉をのせて、段ボールの側面を思いきり叩いてピンポン玉を飛ばすゲームです。みなさんにゲーム名を考えてもらい、また楽しくゲームするための意見を出してもらいました。ゲーム名として「アミポン」「ピンポン飛ばし」などがあげられました。

2種目は、「数字パズル」をしました。枠の中に0~9までの数字を収めるゲームです。3人1組に分かれ、初めはヒントなしで、その後それぞれのグループに異なったヒントを伝え、取り組んでもらいました。どのグループも少しずつ正解に近づくものの、あと少しのところで行き詰ってしまいます。最後は全員で協力し、正解に導くことができました。「今日はよく頭を使った」「一年分ぐらいの脳トレした」と声があり、楽しい講座になりました。

福祉部の活動でレクリエーションを開催したい時は社会福祉協議会までご相談ください。社協にある遊具を使ったゲームや脳トレゲームを職員が指導にいきます!



## 子育てしているいろいろ体験講座

今年度より「託児ボランティア養成講座」から「子育ていろいろ体験講座」に名称を変更しました。子どもに関することを体験してほしいと思い、体験講座になりました。今年は講座を2回、託児体験を2回、計4回開催しました。

10月2日(水)

内容:コースターづくり  
指導:図書ボランティア「布っこ」

「南部裂き織りコースターづくり」を布っこのみなさんに指導していただき作成しました。布を裂いてつくるもので、好きな柄の布を選んで自分だけのコースターを作りました。それぞれ個性が溢れた作品ができ、家でも作りたくて余った材料を持って帰られる方がほとんどでした。今回はコースターサイズを作りましたが、大きさを変えることでインテリアにも鍋敷きにもなること教わりました。



10月23日(水)

内容:救命講習  
指導:日本赤十字社

赤十字社の看護師が指導に来られ、「乳幼児安全法」を学びました。乳児と幼児の心肺蘇生の方法や違い、AEDの使い方を教えてもらいました。乳児と幼児では、心肺蘇生の仕方やAEDの貼り方の違いを学ぶことができよかったです。また、気道異物の除去の方法についても教えてもらいました。こちらも乳児と幼児で違いがあり、とても勉強になりました。実際に今子育て中のお母さんからは、「最近ものを飲み込みそうになって怖かったので、今回の講座はとても勉強になりました」と言われていました。



11月6日・20日(水)

内容:託児体験 指導:wa-wa

子育て中の保護者にリフレッシュしてほしいと願い、毎月実施している託児事業に参加していただきました。この託児事業は、お子様を3時間預かり、日頃できない買物や美容室、リフレッシュなどに活用されています。託児を利用したお母さんやお父さんは「毎回その日の子どもの様子を報告をしてくれるので、安心して預けることができ本当に助かっています」と言われていました。

子育て支援「Wa-Wa」は、希望する日時で個人託児も行っていきます。お申込みは桂川町社会福祉協議会までお願いします。

# 嘉飯桂 社協職員研修

## ☑ 12月6日(金) 総務研修

講師には税理士の中山翔先生をお招きし、計算書類の見方、経営分析・経営改善のポイントと題して、研修を行いました。

社会福祉法人である社会福祉協議会においては「運営」から「経営」へと転換が図られているなかで、管理部門は重要な役割を担っています。社会福祉法人は予算の枠のなかで事業展開しますが、

物価や人件費などが流動的である現在では経理担当が日々チェックし、経営層の判断材料を提供しなければならないと学びました。

地域福祉の推進を目指す前提として、安定した法人経営ができるよう日々、研鑽に励みます。

社協職員 井田

## ☑ 12月7日(土) 地域で「つながる」被災者支援セミナー

嘉飯桂地区社協災害研修として、地域で「つながる」被災者支援セミナーを行いました。午前中は社協職員向け研修を行い、能登半島地震の復興支援に行かれた職員からの活動報告、災害ボランティアを取り巻く法と制度について学びました。

活動報告では、現地の方々との関わりについての話が印象的でした。報告者が一緒に行動したのは、地元民生児童委員の方でした。その方も被災者でしたが、ボランティアに尽力されていたとのことでした。ボランティアと聞くと体力が必要と思われるのですが、その民生児童委員さんは軽トラックの運転ボランティアとして活躍されていました。被災現場まで運転してくれたり、方言が分からないときは、理解できるよう言い換えてくれたり「あの方がいなかったらコミュニケーションが難しく、作業がスムーズにいかなかったと思う」と地元ボランティアさんの重要性についてもお話しされていました。

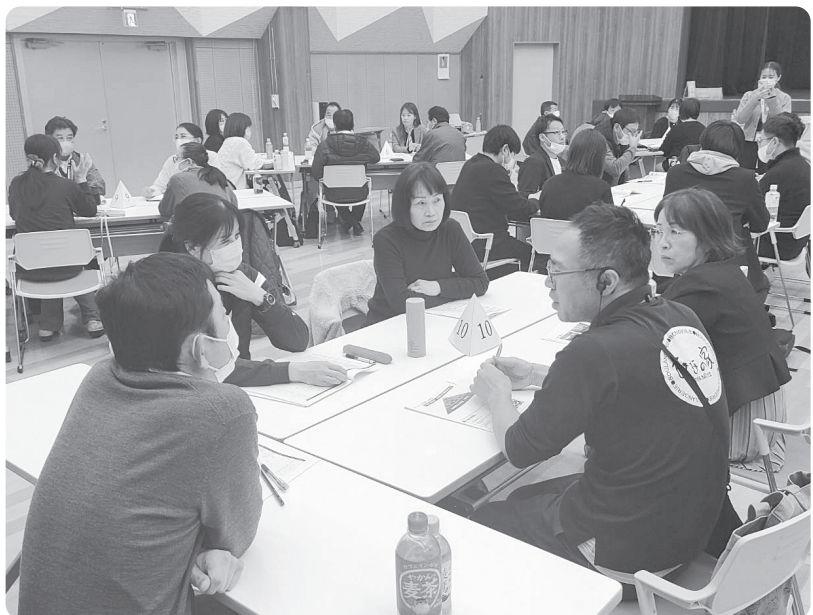
災害ボランティアを取り巻く法と制度については、にいがた災害ボランティアネットワークの理事長 李先生にお話しいただきました。

被災すると罹災証明など、これまでに見たことがないような書類を提出することがあります。ボランティアで被災現場に調査に行くときに概要だけでも知っておけば住民の方々の方々の力になれるようです。見慣れない災害時の法律や制度なども有事に備えて、学びなおしの必要性を感じた講

義でした。

午後からは、一般の方も交えての研修会を行いました。桂川町から、ライオンズクラブ、施設の職員、ボランティア団体の方の参加がありました。桂川町からの参加者は15名で、3つの班に分かれて有事の際には「私は●●ができる」という内容で自分ができることの情報を共有しました。

参加された盲養護老人ホームでは入居者の安全を守ることに加え、避難所としても機能しなければならないこともあり支援する側の人が必要だだろうとお話されました。この困りごとに対してボランティア団体の方が、避難所のお手伝いならできるかも、聞こえない方の支援をしているが、目が見えないの方とのコミュニケーションもできそう等、たすけあうための繋がりが構築できました。





# 手話の会の活動

## ◎短期手話講習会

9月26日(木)から12月5日(木)の期間、短期手話講習会が行われました。12月5日(木)には閉講式が行われ、受講された4名に修了証書が渡されました。

受講生から「まだまだ手話を勉強したい」と嬉しい言葉をいただきました。

閉講式後には、聴覚障がい者の方との交流をしました。手話でうまく伝えられないこともありましたが、手話を教えてもらいながらお話できました。最後はみんなで「赤鼻のトナカイ」を手話で歌い楽しい時間になりました。



## ◎手話の会忘年会

12月21日(土)に忘年会を行いました。今年も20名の参加があり、いっぱい食べて飲んで、たくさんお話して交流を深めました。ビンゴ大会もあり大盛り上がりで会を終えることができました。

忘年会を通して、定例会ではなかなかお話できていなかった方ともたくさん交流ができて嬉しかったです。手話でお話しましたが、いろいろな表現の仕方、初めて見る手話もあり、改めて手話は奥が深いと感じました。



令和6年度

## 共同募金ご協力企業等名

(1月末日現在)  
順不同・敬称略

### 法人募金協力企業

(株)さんぐん  
猪俣歯科医院  
追立衣料品店  
大村内科医院  
(株)エフィ石灰工業所  
(株)オリオンガス  
(株)福岡タルク工業所  
尙きと葬祭 やまさ桂川斎場  
善光会館 桂川会場  
総合開発企業組合  
谷口住設  
中嶋駐車場  
ながはた  
エヌティ工業(株)  
福岡観光バス(株)  
魚城  
尙圓屋食品  
嘉麻桂川広域シルバー人材センター  
尙福岡設備  
青柳食品

(尙)伊藤産業  
(尙)ギフトセンター山城  
(尙)矢次衛生  
(尙)リースキン・サトー  
吉貝自動車整備工場  
よしなか洋品店  
(株)光製作所  
(株)玉置  
今心株式会社  
大塚武文歯科医院  
からあげ屋  
やますい  
小路石油(株)  
桂川町建設業組合  
飯塚信用金庫筑穂桂川支店  
カーテック青山  
嘉穂信和病院  
桂川歯科  
呑風  
(株)シモカワ通信

川波総合自動車  
ヨシタケTS(株)  
あゆみ・あゆみ2番館  
デイリーストア桂川店  
企業組合ワークスコープ嘉飯



### 職域募金協力団体

桂川町役場  
区長会  
民生児童委員協議会  
保護司会桂川分区  
老人クラブ連合会  
桂川小学校  
桂川東小学校  
桂川中学校  
明日香園  
さくら園  
白藤の苑  
ひなの家  
ワークランド桂川  
明輝園  
HilltopGarden雅  
HilltopGarden庚  
みんなの家  
生活介護いせん  
吉隈保育園  
善来寺保育園

—ご寄付ありがとうございました—



## 明輝園のご紹介

「明輝園」は桂川駅から徒歩7分ほどにある桂川町九郎丸で障がい者支援施設を運営しています。

移転前は山田市にありましたが、交通の便や建物の老朽化もあり、今年の3月で桂川町に移転してきて11年がたちこっています。

私たちの施設では、利用者さんに寄り添い、普段の生活をサポートしていきながら、安心して穏やかに生活できるように心がけております。

また、日中の作業活動として、袋作り作業を行っております。一人ひとりに合った作業工

### 障害者支援施設 明輝園

桂川町九郎丸668  
☎0948-65-5111・☎0948-65-5335



程の提案や、落ち着いて作業が行える空間を作っていけるよう日々努めております。

今後の目標としては、ここ数年は感染症等で外出を控えています。旅行やイベント等、利用者さんに楽しんで頂ける活動を考えていきたいと思っております。

青柳

## ワークランド桂川の活動

社会福祉法人自遊学舎「ワークランド桂川」では、就労継続支援B型・生活介護の方が毎日楽しく作業をされたり、お友達と楽しく過ごされたりしています。

作業内容は菓子箱折りやお茶のセット加工、農作業用品の袋詰めなどをおこなっています。

施設では室内行事や外出行事もあり、昨年末におこなったお楽しみ会では、お菓子釣りやケーキ作り、ビンゴ大会、つかみ取り等の催しがあり大盛況でした。

コロナ禍でなかなか外出行事もできませんでしたが、昨年はピクニックもおこないました。

### 障がい者福祉サービス ワークランド桂川

桂川町吉隈630-1  
☎0948-65-4080・☎0948-65-1923



外でたくさん体を動かした後に食べるお弁当に皆さん大喜びでした☆  
今後は桂川町で開催されているイベント等にも参加させていただき利用者様が楽しく通える施設にしていきたいと思っております。

奥平 由希





# お知らせ

## リフレッシュ事業

買物へ、ランチへ…。お子さまをお預かりしている間、日頃できなかったことに、ゆっくり時間を使ってみませんか？

日程	2月19日	水曜日
	3月5日・19日	

時間 10時30分～13時30分  
 場所 桂寿苑 すくすく広場  
 定員 10名(生後3カ月からお預かりします)  
 託児料 1回100円/人(おやつ代含む)  
 持参物 お弁当・飲み物・着替え・その他必要な物  
 託児 子育て支援「Wa-Wa」が担当



## 公正証書相談会

遺言、相続、尊厳死、金銭消費貸借、土地・建物などの賃貸借、協議離婚に伴う財産分与・養育費や慰謝料の支払い、会社設立、任意後見に伴う公正証書の作成について

日時 3月12日(水)  
 13時30分～16時(30分/人)

場所 いきいきセンター桂寿苑  
 相談員 飯塚公証役場  
 公証人 吉田 光宏 氏  
 費用 無料(要予約)



## パソコン教室

年に一回の決算・予算「あれ？これどうやるんだっけ？」とパソコン操作で困ったことはありませんか？

そこで、たすけあい桂川が福祉部や団体の総会資料等で必要な決算書・予算書の作成に特化した教室をおこないます。

会員の方でなくても参加可能!ぜひご参加ください!

日時 3月18日(火) 13時30分～  
 場所 いきいきセンター桂寿苑  
 講師 堀井 敏男 氏

持参物 パソコン  
 費用 無料

※要予約となっています。参加希望の方は社会福祉協議会までご連絡ください。



## 令和7年 カレンダー収集

昨年12月からご家庭でお使いにならないカレンダーをたくさんお持ちいただきました。地域のみなさまのご協力の下、今年のカレンダーは648部収集し、必要な方へお渡しすることができました。みなさまからの優しさが込められたカレンダーをめくりながら、幸せいっぱいな1年をお過ごしになることを願っています。

- 令和6年11月1日～令和7年1月31日  
 香典返し 寄付金
- 土居一 木原 宏様(故妻) 淳子様
  - 古賀 濱亀様(故夫) 紀夫様
  - 吉隈一 津野 真一様(故母) 弘子様
  - 吉隈二 芳中リツ子様(故子) 敏郎様
  - 瀬戸 池部 稔様
  - 豆田 (故義母) 井上 末子様
  - 柴田 真弓様(故夫) 幸治様
  - 内山田 松尾 信一様(故妻美喜代様)
  - 土師二 藤嶋勢津子様(故夫) 泰則様
  - 吉隈一 原中 政道様(76歳祝)
  - 土師七 藤川 貴弘様(故父) 武春様
  - 土師五 藤川 忠明様(故母) 初代様
  - 桂川中学校 昭和44年度卒業生一同様
  - 一般寄付金 寄付金合計278,594円



## 街頭募金へのご協力

昨年の10月1日から12月31日までの3か月間は、赤い羽根共同募金運動期間でした。

今年度も街頭募金をトライアル桂川店で3回、イベント募金を王塚古墳まつりで行いました。町内のボランティア団体の方も一緒に募金活動をしていただき、延46名で募金の呼びかけをしました。活動中には多くの方に足を止めてもらい募金いただきました。ご協力ありがとうございました。

みなさまからご協力いただいた募金は、社会福祉協議会が行う高齢者、障がい者、子どもなどに関わる事業の財源として活用いたします。



## 人権相談ダイヤル

～ひとりで悩まず相談してください～

- みんなの人権110番 ☎0570-003-110  
差別、虐待、ハラスメント等、さまざまな人権問題についての相談
- 女性の人権ホットライン ☎0570-070-810  
女性の人権についての専用相談電話
- 子ども人権110番 ☎0120-007-110  
子どもの人権についての専用相談電話
- インターネット人権相談窓口 <http://www.jinken.go.jp/>  
パソコン、携帯電話、スマートフォンから、いつでもご利用いただけます。



スマートフォンからは  
こちらから



問合せ・申込先 桂川町社会福祉協議会 (いきいきセンター「桂寿苑」内) ☎65-2271 FAX65-4555



「ふれあいに聞きました」



たかしま あつこ  
高嶋 篤子さん

プロフィール

◎年齢 81歳  
◎住所 土師三  
◎趣味 古布タペストリー・アートフラワー・パッチワーク

聞き手

右田 よう子  
足立 秀子

図書館にて、傘寿の記念作品展を開かれた高嶋さん。作品に惹かれ、お話を聞きたいと思いインタビュしました。お部屋にも布でつくったお花が飾られておりとても素敵でした。お話が大好きな方で、たくさん良いお話を聞くことができました。

Q1 作品を作り始めたきっかけは？

結婚して山口に行ってから、お茶とお花を習っていました。それに関連のあるアートフラワーを飯田深雪さんに魅了されて、作り始めました。

Q2 作品展はどのようにつくっていくようになったのですか？

夫の転勤で北九州市に移り、ここで古布の洋服制作、ロマンドールを新しく作り、起業祭で作品を出品し、自分の作品が売れる喜びを実感しました。その後、夫の定年で桂川に落ち着いてから沖繩を代表する伝統的な紅型染め（びんがたぞめ）を始めました。これまでに作り溜めていた作品を地域の公民館で作品展を開きました。近所

Q3 これからのやりたいこと

の方々がみなさん良い人ばかりで、作品展示の時は、準備から片付けまで一緒にしてくださって人とのつながりができ、たくさんの人と出会いがありました。

70代で病気になるりましたが、80歳まで生きたらいいなと思っていたところ80歳になり、残りの人生はおまけの人生と思っています。これからの目標は、いろいろな作品を作って、町の文化祭に展示することです。また、米寿のときに個展を開きたいと思っています。おまけの人生を好きなことをして楽しみたいです。

Q4 同世代へメッセージ

私は、地域活動の中で多くの方と出会い、たくさん助けられました。図書館での作品展でも準備や片付けを手伝ってもらい本当に助かりました。自分の殻に閉じこもらないで、近所の人との交流を楽しんでください。また、いくつになっても、小さくてもいいので夢や目標を見つけてください。夢や目標をもって過ごすことが元気の秘訣になります。

米寿を目指して、元気に楽しく生きたい！



編集後記

新年を迎えたばかりですが、毎日慌ただしく過ごしています。

2月2日(日)は節分ですね。豆まき、恵方巻を食べることでその年の福を招くとされています。ご存じの方もおられるかと思いますが、節分(せつぶん)は、節分かれ(ふしわかれ)とも言われています。その言葉通り、立春、立夏、立秋、立冬それぞれ前日を指しています。現在は節分といえば立春の前日を指すようになりました。なぜ立春の前日だけになったのかというと、四季の中でも冬から春へと変わる立春は特別なものだったようです。

旧暦では二十四節気の始まりでもある立春が、一年の始まりと考えられていたためです。新しい季節と一年の区切りであるこの日、当時の人々は厄払いに余念がなかったようです。何はともあれ春が待ち遠しいですね!!

荒井リカ



絵：久留島美千代さん (土師六)

地域ふれあい手話講習会

10月9日(水)と12月11日(水)に二反田区で地域ふれあい手話講習会をおこないました。手話の会に指導していただき、聴覚障がい者について学び、あいさつや自分の名前の手話を教わりました。その後、聴覚障がい者と交流を通して、いろいろな手話を教わりながらお話をして時間を忘れるぐらいすごく盛り上がりました。

2回目は手話の復習として講座をすすめました。2ヶ月経っていると忘れていた方がほとんどでした。「あーこんな手話やった」「そうそうこれもあった」とだんだん思い出してもらいながら参加してもらいました。

交流では、手話が分からない言葉を伝える時、みなさん身振りや表情で伝えており、それが伝わっていたので、聴覚障がい者との会話は必ずしも手話が必要なことではないことを改めて感じました。

